

ひご野菜“ひともじ”を試験栽培

熊本市では、熊本で古くから栽培されてきた野菜や、食文化にかかわる野菜、地名や歴史にちなむ野菜など15品目を「ひご野菜」として指定しています。

ひご野菜の一つである“ひともじ”（ワケギ）は、ネギと比べて香りがマイルドで、「ひともじのぐるぐる」という熊本の代表的な郷土料理などに活用されています。小ネギと似ていますが、根元からたくさんの株に分かれ、球根で増えるところが特徴です。9月に定植し、11月中旬から収穫が行われます。

“ひともじ”の安定生産及び産地化のため、JA熊本市東部支店管内では、試験栽培を今年度から開始しており、出荷を12月末から予定しています。また、“ひともじ”は、普通作物との輪作作物や耕作放棄地対策にも期待されています。

熊本市地域では、ひご野菜“ひともじ”の産地の安定、地域農業の課題解決に向けて、取り組んでいきます。

(熊本市支部：大木)

